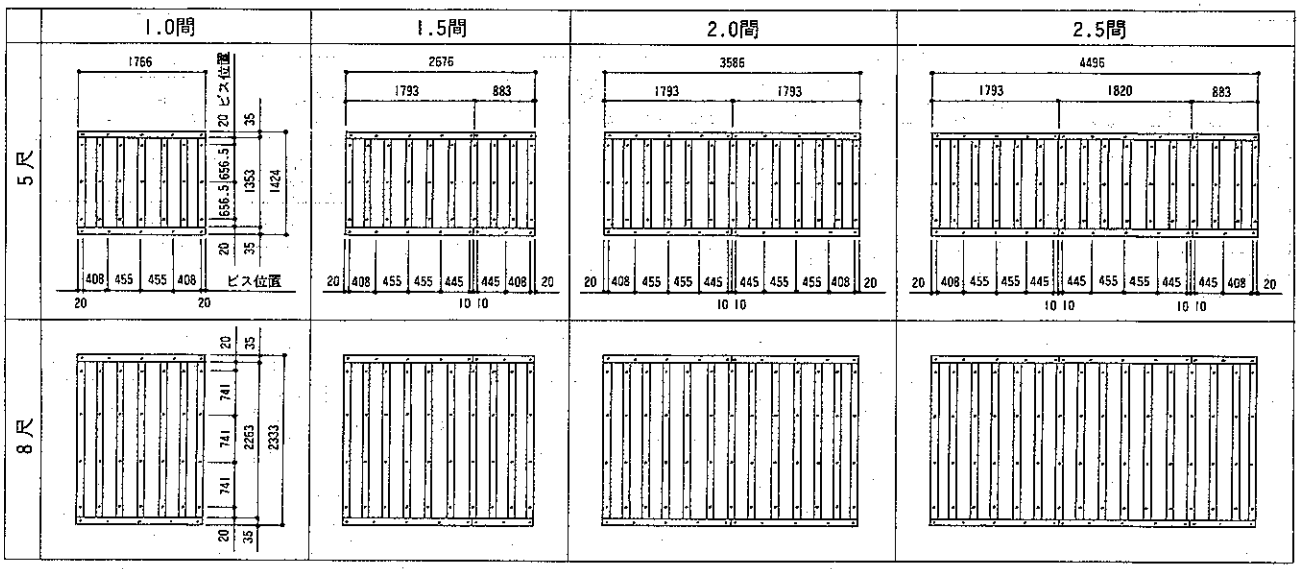
サンルーミィR型

サンルーミィR型 …… 541

注意事項	542
規格・ガラス寸法表、梱包明細	544
ランマ・屋根・側面調整パネル寸法	550
壁面の墨出し・埋込基礎の設定	551
本体の取付	553
戸袋調整部材の取付	568
開口部はサンルーミィA型を参照	
床材の取付	575
屋根・妻面・ランマ部のパネル取付	580
基本断面図	583
天井スクリーン・遮光ネット	585

このファイルには□で囲った部分が掲載されています。

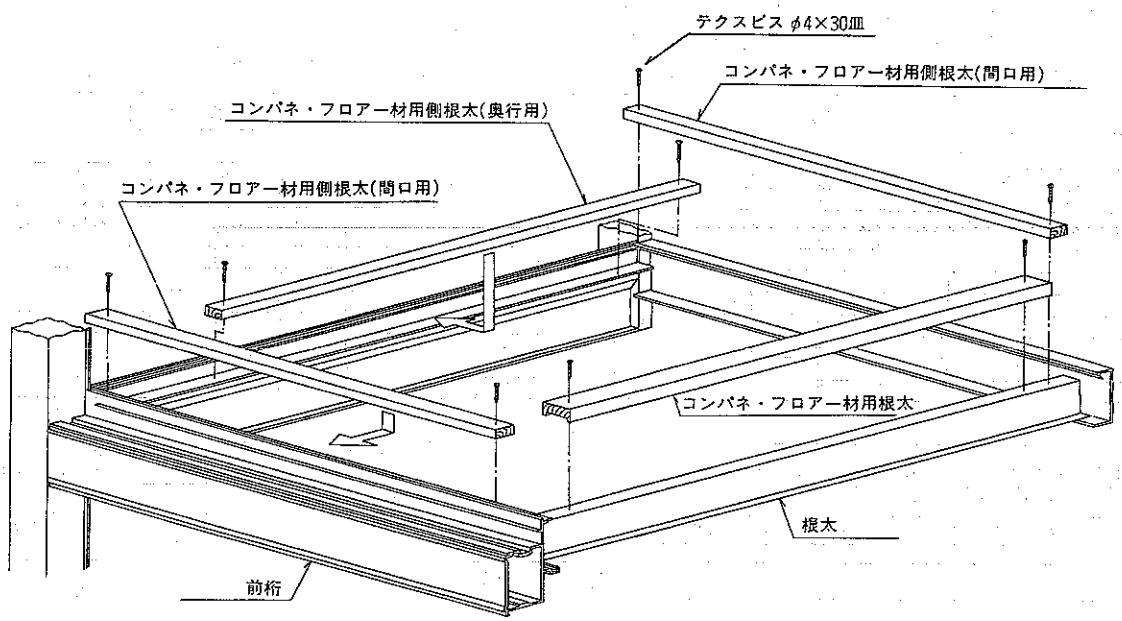
14. コンパネ・フロアー材用根太伏図表及び取付け



コンパネ・フロアー材用側根太（間口用）を切断してください。（上記表を参照）
ℓ＝1820 でできています。奥行用は切断の必要はありません。

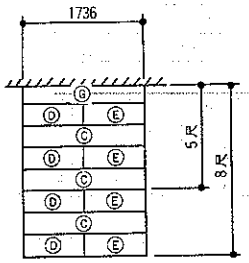
取付け手順

① はじめに前桁側より取付けてください。（根太の上にのせ、前桁にあてつけて固定してください。）
② つぎに奥行用を妻桁及び根太に取付けてください。
③ 最後に躯体側を取付けてください。
④ 連棟の場合は、連棟用コンパネ・フロアー材用根太が必要です。



15. フロアー材伏図表及び取付け（フロアー材の切断は、次ページを参照してください。）

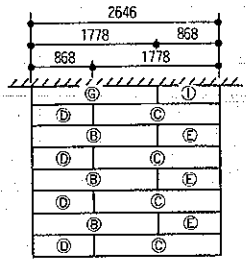
1.0間



	C ℓ=1778	D ℓ=868
5尺	2	2
8尺	3	4

	E ℓ=868	G ℓ=1778
5尺	2	1
8尺	4	1

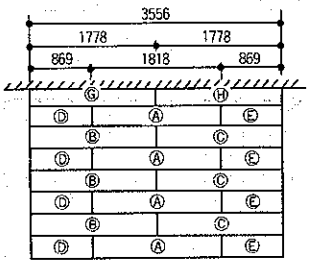
1.5間



	B ℓ=1778	C ℓ=1778	D ℓ=868
5尺	2枚	2枚	2枚
8尺	3枚	4枚	4枚

	E ℓ=868	G ℓ=1778	I ℓ=868
5尺	2枚	1枚	1枚
8尺	3枚	1枚	1枚

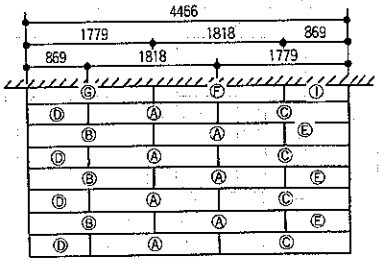
2.0間



	A ℓ=1818	B ℓ=1778	C ℓ=1778	D ℓ=869
5尺	2枚	2枚	2枚	2枚
8尺	4枚	3枚	3枚	4枚

	E ℓ=869	G ℓ=1778	H ℓ=1778
5尺	2枚	1枚	1枚
8尺	4枚	1枚	1枚

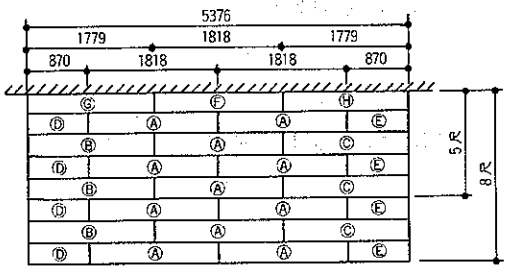
2.5間



	A ℓ=1818	B ℓ=1779	C ℓ=1779	D ℓ=869
5尺	4枚	2枚	2枚	2枚
8尺	7枚	3枚	4枚	4枚

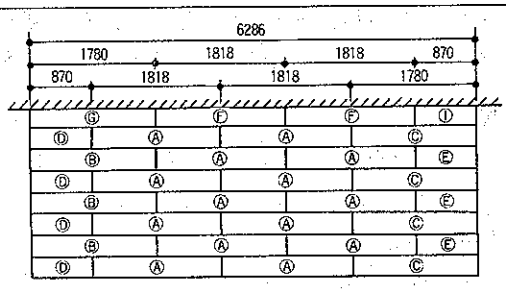
	E ℓ=869	F ℓ=1818	G ℓ=1779	I ℓ=869
5尺	2枚	1枚	1枚	1枚
8尺	3枚	1枚	1枚	1枚

3.0間(1.5間＋1.5間)



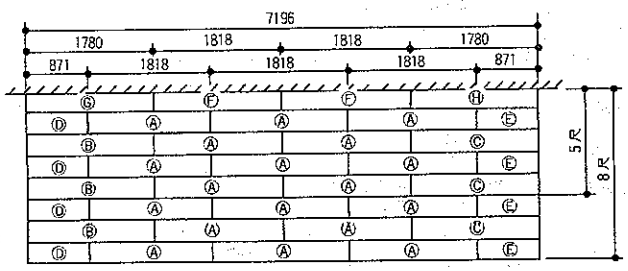
	A ℓ=1818	B ℓ=1779	C ℓ=1779	D ℓ=870	E ℓ=870	F ℓ=1818	G ℓ=1779	H ℓ=1779
5尺	6枚	2枚	2枚	2枚	2枚	1枚	1枚	1枚
8尺	11枚	3枚	3枚	4枚	4枚	1枚	1枚	1枚

3.5間(2.0間＋1.5間)



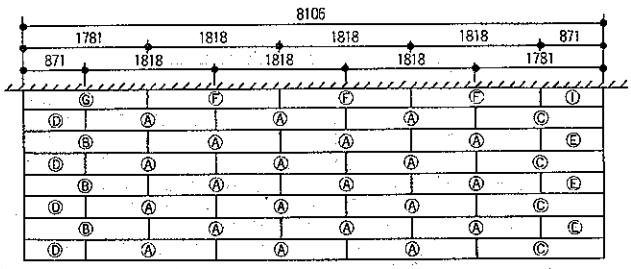
	A ℓ=1818	B ℓ=1780	C ℓ=1780	D ℓ=870	E ℓ=870	F ℓ=1818	G ℓ=1780	I ℓ=870
5尺	8枚	2枚	2枚	2枚	2枚	2枚	1枚	1枚
8尺	14枚	3枚	4枚	4枚	3枚	2枚	1枚	1枚

4.0間(2.0間＋2.0間)



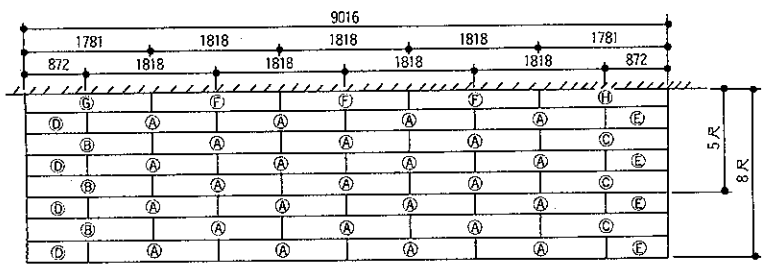
	A ℓ=1818	B ℓ=1780	C ℓ=1780	D ℓ=871	E ℓ=871	F ℓ=1818	G ℓ=1780	H ℓ=1780
5尺	10枚	2枚	2枚	2枚	2枚	2枚	1枚	1枚
8尺	18枚	3枚	3枚	4枚	4枚	2枚	1枚	1枚

4.5間(2.5間＋2.0間)



	A ℓ=1818	B ℓ=1781	C ℓ=1781	D ℓ=871	E ℓ=871	F ℓ=1818	G ℓ=1781	I ℓ=871
5尺	12枚	2枚	2枚	2枚	2枚	3枚	1枚	1枚
8尺	21枚	3枚	4枚	4枚	3枚	3枚	1枚	1枚

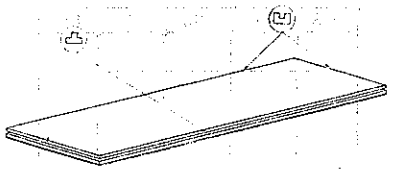
5.0間(2.5間＋2.5間)

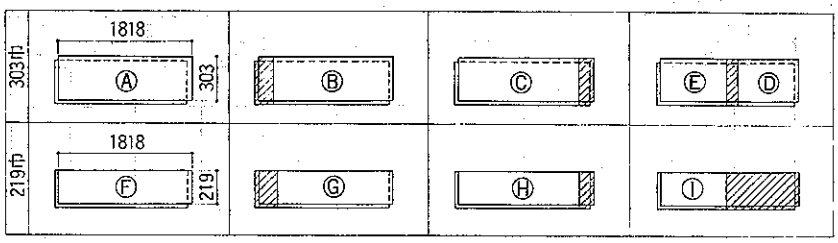


	A ℓ=1818	B ℓ=1781	C ℓ=1781	D ℓ=872
5尺	14枚	2枚	2枚	2枚
8尺	25枚	3枚	3枚	4枚

	E ℓ=872	F ℓ=1818	G ℓ=1781	H ℓ=1781
5尺	2枚	3枚	1枚	1枚
8尺	4枚	3枚	1枚	1枚

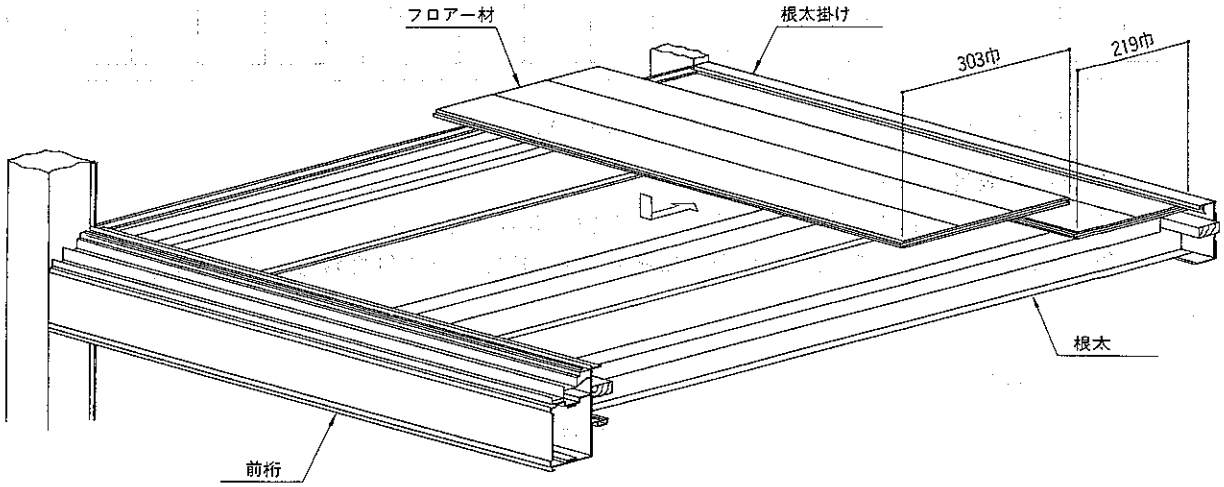
●フロアー材切断表

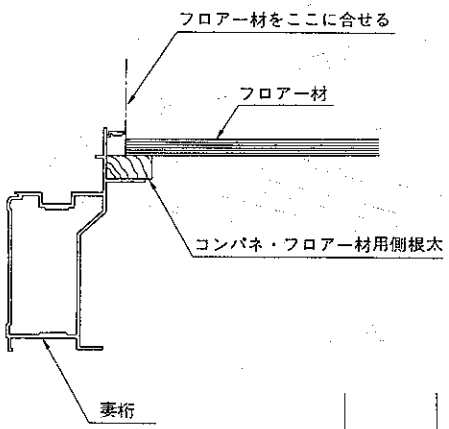




フロアー材伏図表を参照し、上記表のように切断してください。

（注） 方向性に注意してください。取付けできない場合があります。
219幅は、躯体側の列のみに使用します。



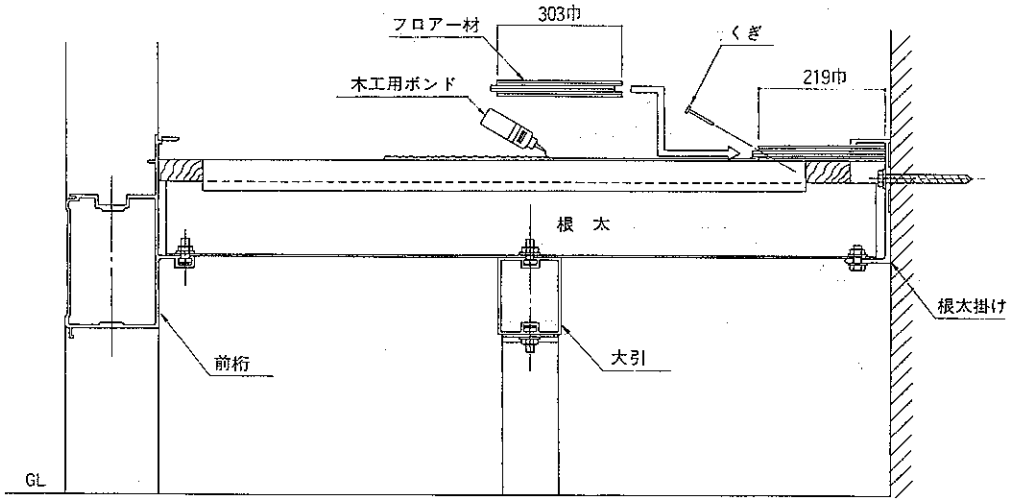


フロアー材の取付け方法（上図参照）

① 219幅のフロアー材を躯体側より取付けますが、ボンド塗布後、根太掛けにあてつけた状態で釘止めしてください。（フロアー材の端部は、根太の中心にくるようにしてください。）

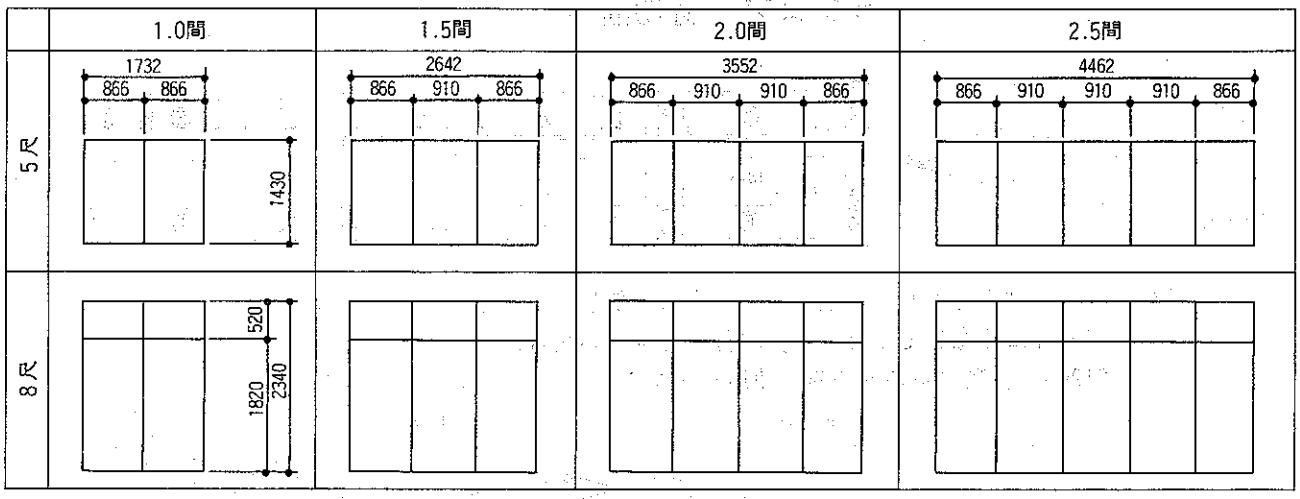
② 2列目より 303幅のフロアー材になりますが、必ず伏図表のように、千鳥に取付けてください。

（注） ボンドは、根太材全周に必ず塗布してから、フロアー材を釘打ちしてください。



※必ず219巾のフロアー材を根太掛け側に使用してください。

16. コンパネ伏図表及び取付け

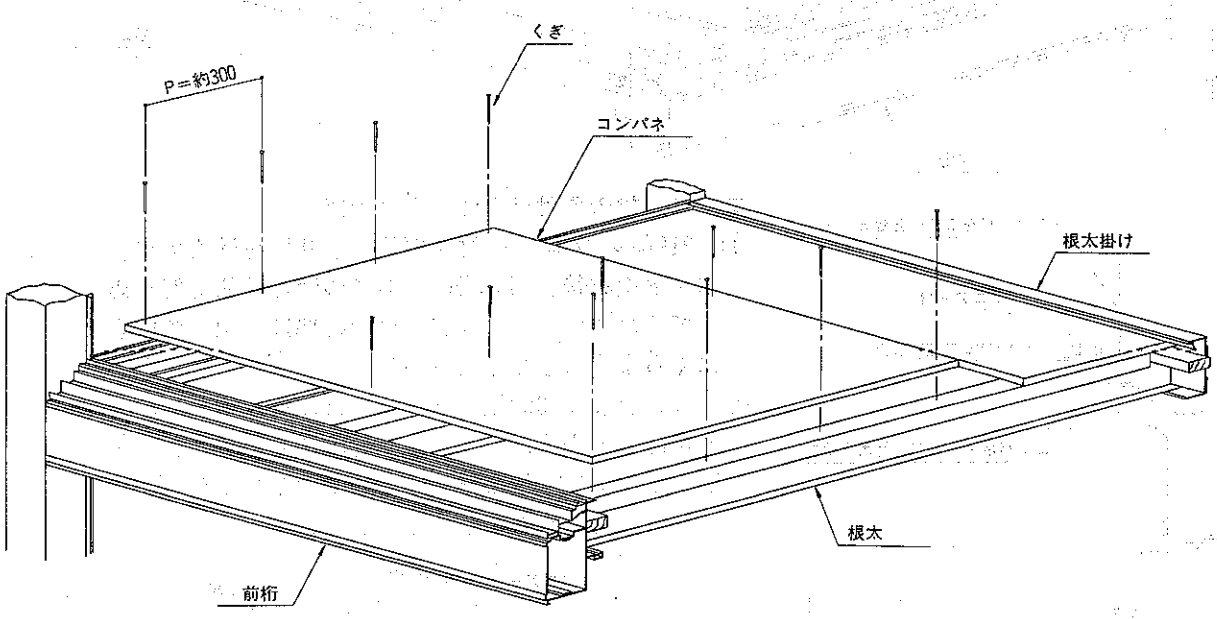


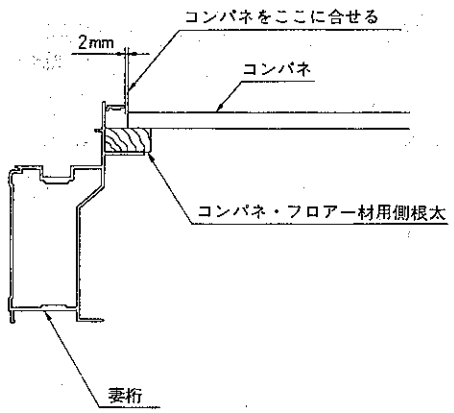
上記表を参照し、コンパネを取付けてください。

コンパネ取付け方法

① コンパネに根太取付けピッチのケガキ線を入れてください。

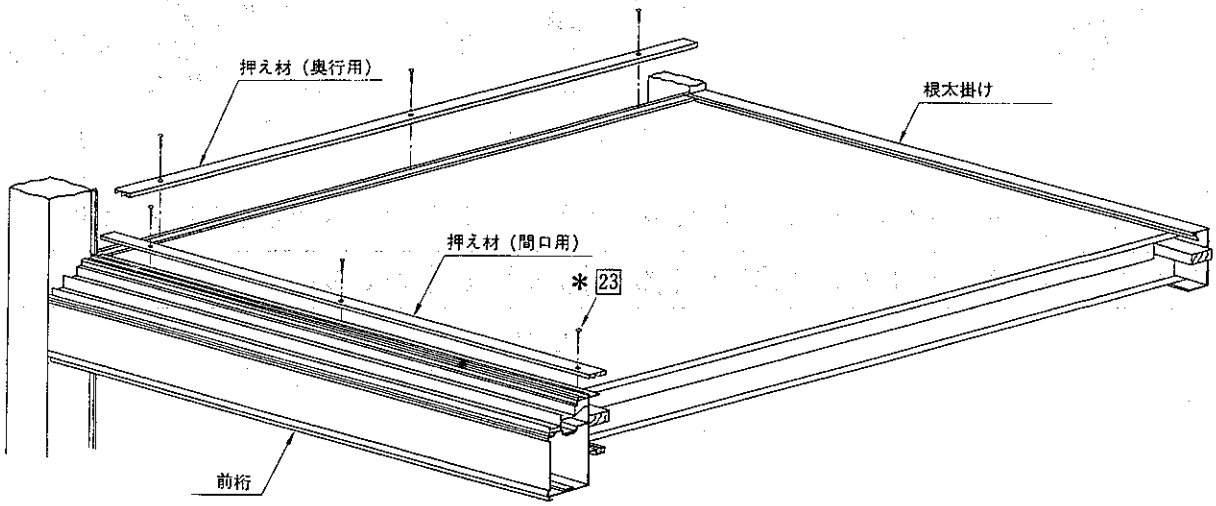
② 根太にボンド塗布後、ケガキ線にそって約300ピッチで釘打ちしてください。



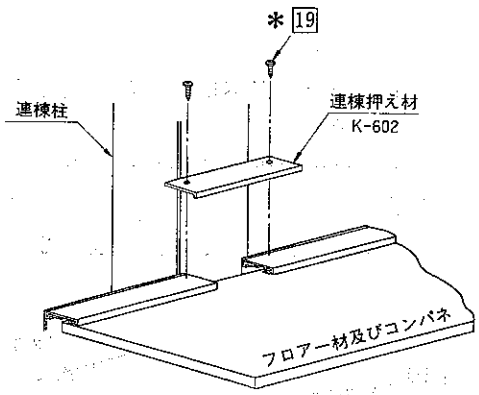


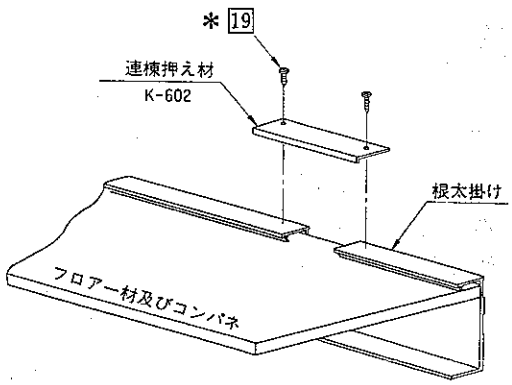
17. 押え材の取付け（フロアー材仕様・コンパネ仕様共通です）

押え材は、ビードが室内側にくる方向で取付けてください。



18. 連棟押え材の取付け





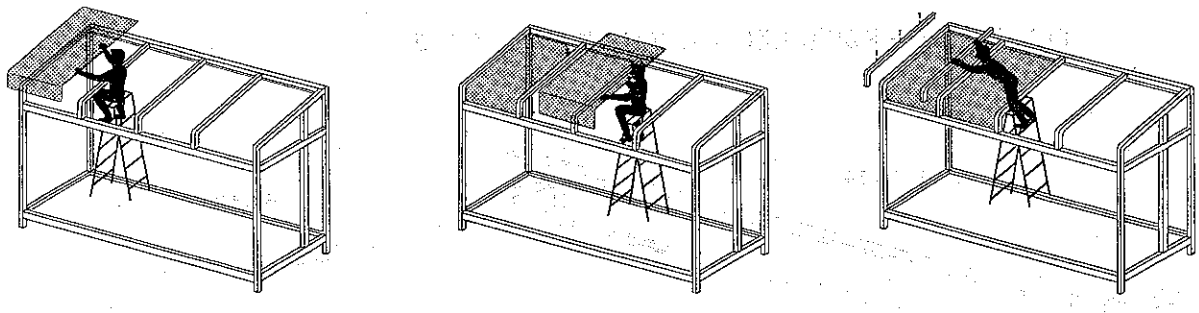
54

連棟床カバー（ ）は不要となります。

組立てネジ一覧表　　注）＊印はカラーのビスを使用して下さい。

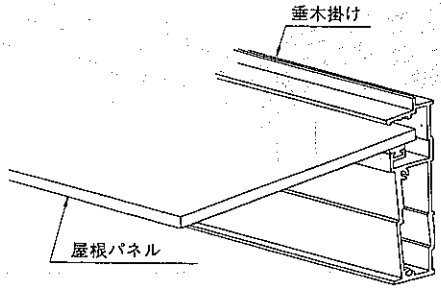
1 コーチスクリュー（十字穴付） φ8×75	2 コーチスクリュー（十字穴付） φ6×70	3 六角ボルト M10×110	4 六角ボルト M8×30	5 六角ボルト M8×20
6 六角ボルト（十字穴付） M6×16	7 タッピンネジ1種（ナベ） φ6×35	8 タッピンネジ2種（ナベ・ガイド付） φ5×60	9 タッピンネジ2種（ナベ・ガイド付） φ4×25	10 タッピンネジ2種（皿） φ4×20
11 タッピンネジ1種（トラス） φ4×50	12 タッピンネジ3種（トラス） φ4×10	13 タッピンネジ3種（皿） φ4×25	14 タッピンネジ3種（皿） φ4×14	15 テクスネジ（ナベ） φ4×35

19. 屋根樹脂パネルの取付け

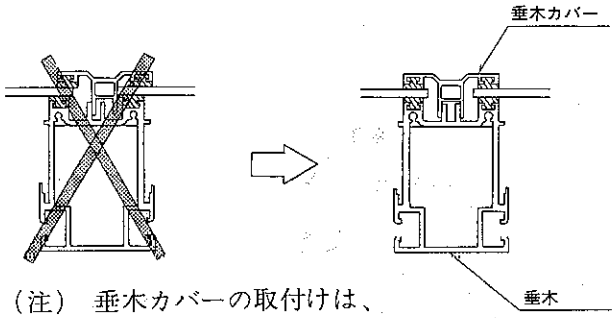


（注） 屋根樹脂パネルの取付け作業は、図のように順次仕上げていくと早く仕上がります。

19-1 屋根樹脂パネルを垂木掛けの溝に挿入してください。

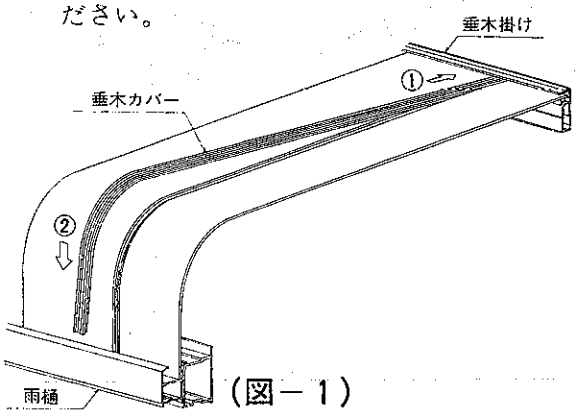


19-2 垂木カバーの取付け

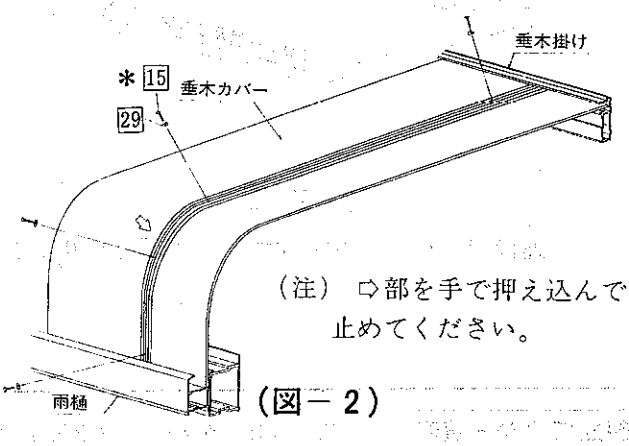


（注） 垂木カバーの取付けは、垂木に完全に納まっているか確認しながら取付けてください。

① 垂木カバーを垂木掛けに押し込んでください。（図－1）
② 垂木カバーを垂木に添わせてセットしてください。
③ ビス止めしてください。（図－2）



（図－1）

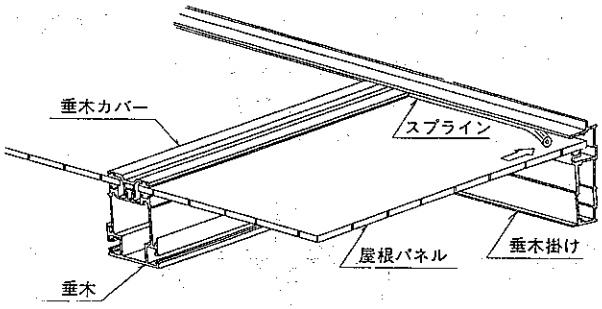


（注） ⇨部を手で押え込んで止めてください。

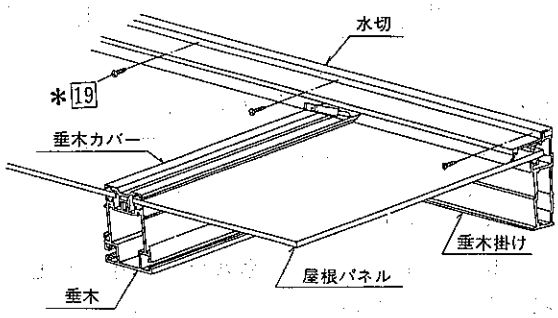
（図－2）

16 テクスビス(ナベ) φ4×25	17 テクスビス(ナベ) φ4×19	18 テクスビス(ナベ) φ4×16	19 テクスビス(ナベ) φ4×13	20 テクスビス(皿) φ4×25
21 テクスビス(皿) φ4×19	22 テクスビス(皿) φ4×16	23 テクスビス(皿) φ4×13	24 テクスビス(皿) φ4×10	25 六角ナット M6
26 ワッシャー(小形丸) φ10	27 ワッシャー φ8	28 ワッシャー φ6	29 樹脂ワッシャー φ4	30 角ワッシャー φ5

19-3 垂木掛けの溝に、スプラインを挿入してください。

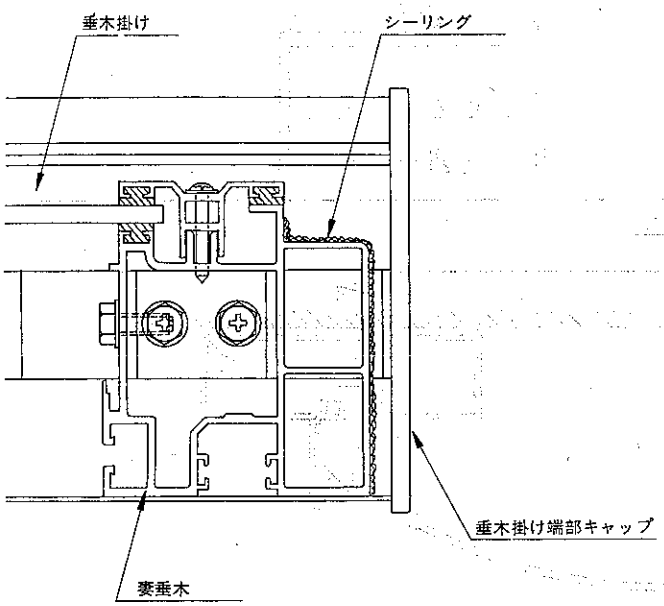


19-4 水切の取付け

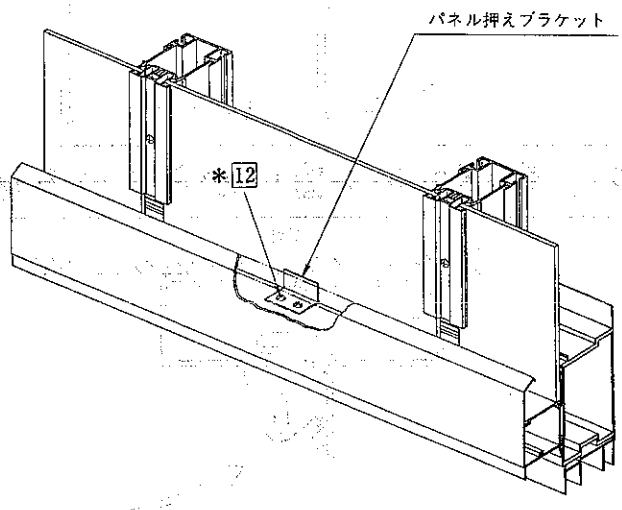


- 水切を垂木掛けに取付けてください。
- ウェザーストリップにカッター等で切りこみを入れてください。
  （垂木カバー部）

19-5 妻垂木と垂木掛けをシールしてください。



19-6 パネル押えブラケットを取付けてください。



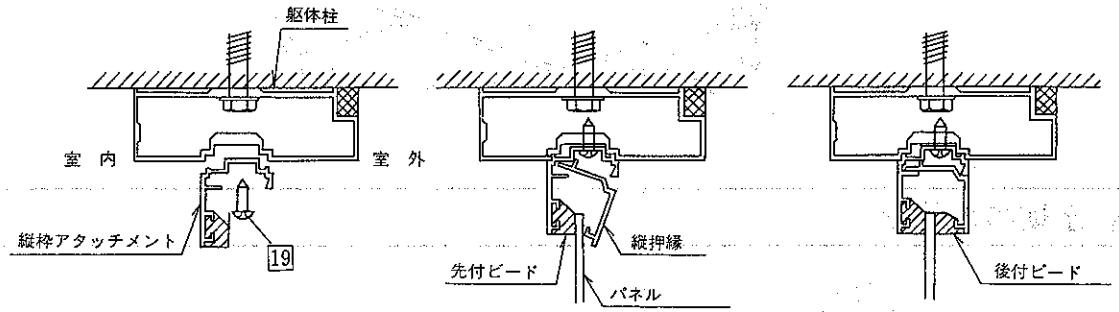
組立てネジ一覧表

注）＊印はカラーのビスを使用して下さい。

1 コーチスクリュー（十字穴付） φ8×75	2 コーチスクリュー（十字穴付） φ6×70	3 六角ボルト M10×110	4 六角ボルト M8×30	5 六角ボルト M8×20
6 六角ボルト（十字穴付） M6×16	7 タッピンネジ1種（ナベ） φ6×35	8 タッピンネジ2種（ナベ・ガイド付） φ5×60	9 タッピンネジ2種（ナベ・ガイド付） φ4×25	10 タッピンネジ2種（皿） φ4×20
11 タッピンネジ1種（トラス） φ4×50	12 タッピンネジ3種（トラス） φ4×10	13 タッピンネジ3種（皿） φ4×25	14 タッピンネジ3種（皿） φ4×14	15 テクスネジ（ナベ） φ4×35

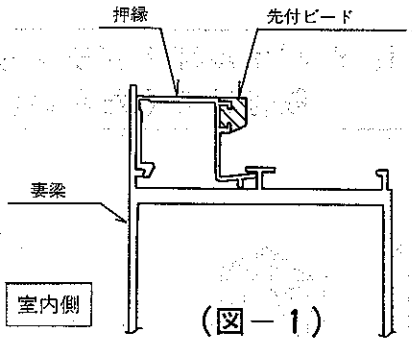
20-1 妻パネル及び側面ランマパネル取付け

●先付ビードが室内側にくるように、タテ枠アタッチメントを取付けてください。
●下枠にセッティングブロックをセットしてください。
●妻パネルを入れ、タテ押縁をハメ込んでください。
●後付ビードで妻パネルを接続してください。

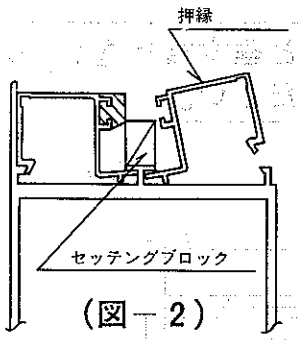


側面ランマパネルの取付け

●先付ビードが室内側にくるように、押縁をハメ込んでください。（図－1）
●セッティングブロックをセットし、外側の押縁をハメ込んでください。（図－2）
●妻柱にタテ枠アタッチメントを取付けてください。
●パネルをケンドン式に入れ、タテ押縁をハメ込んでください。
●後付ビードでパネルを接続してください。（R型の側面ランマパネルは、専用後付ビードが「妻たる木」の梱包に入っていますので、必ずこれで接続してください。）

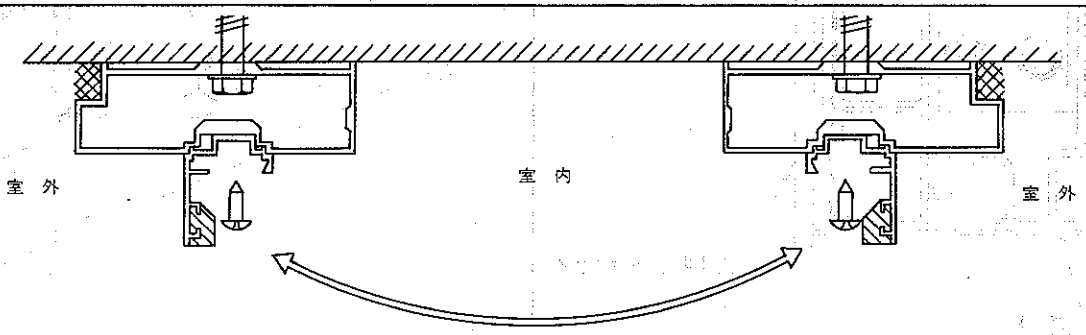


（図－1）



（図－2）

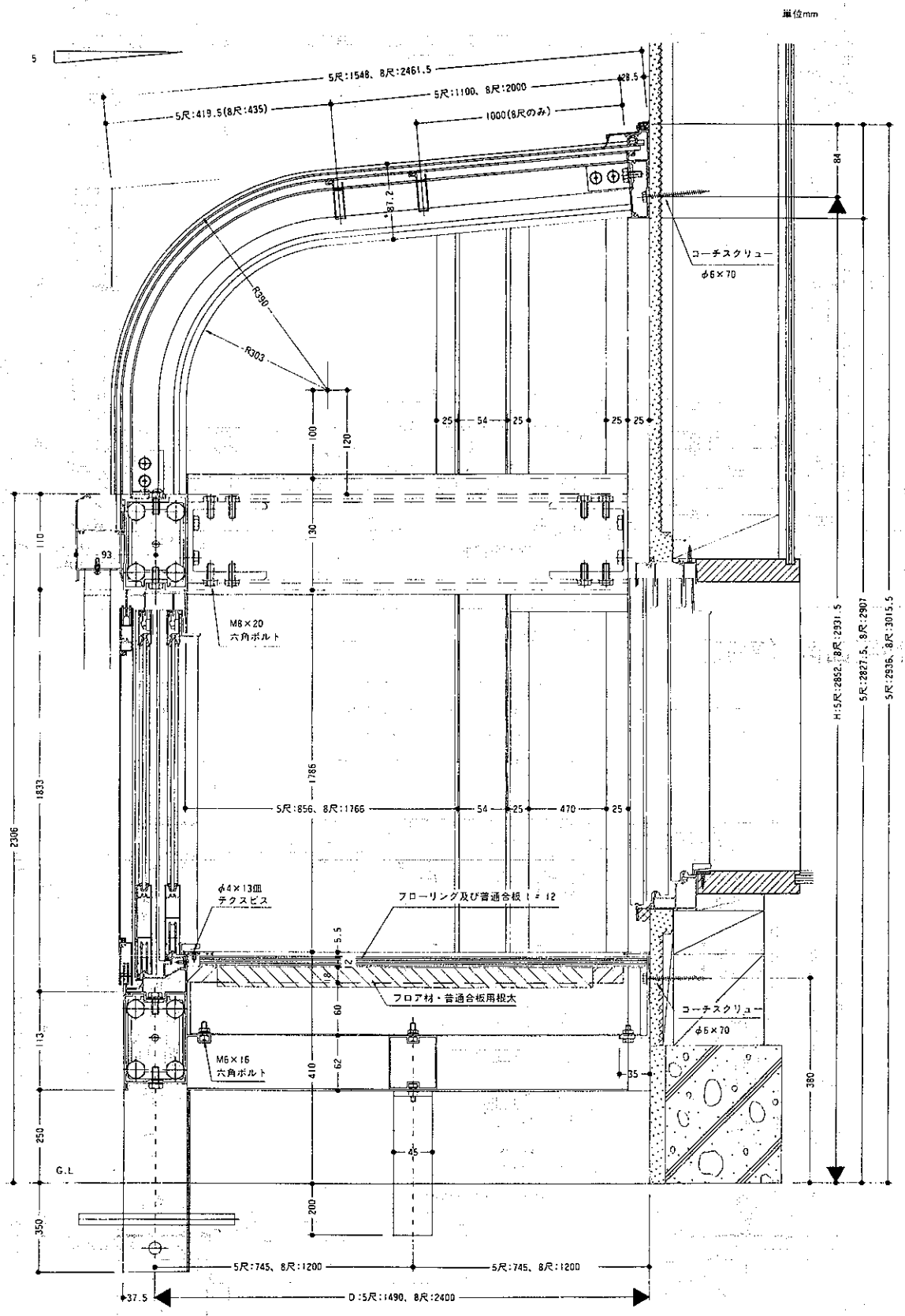
21. 妻パネルを室内から入れる場合



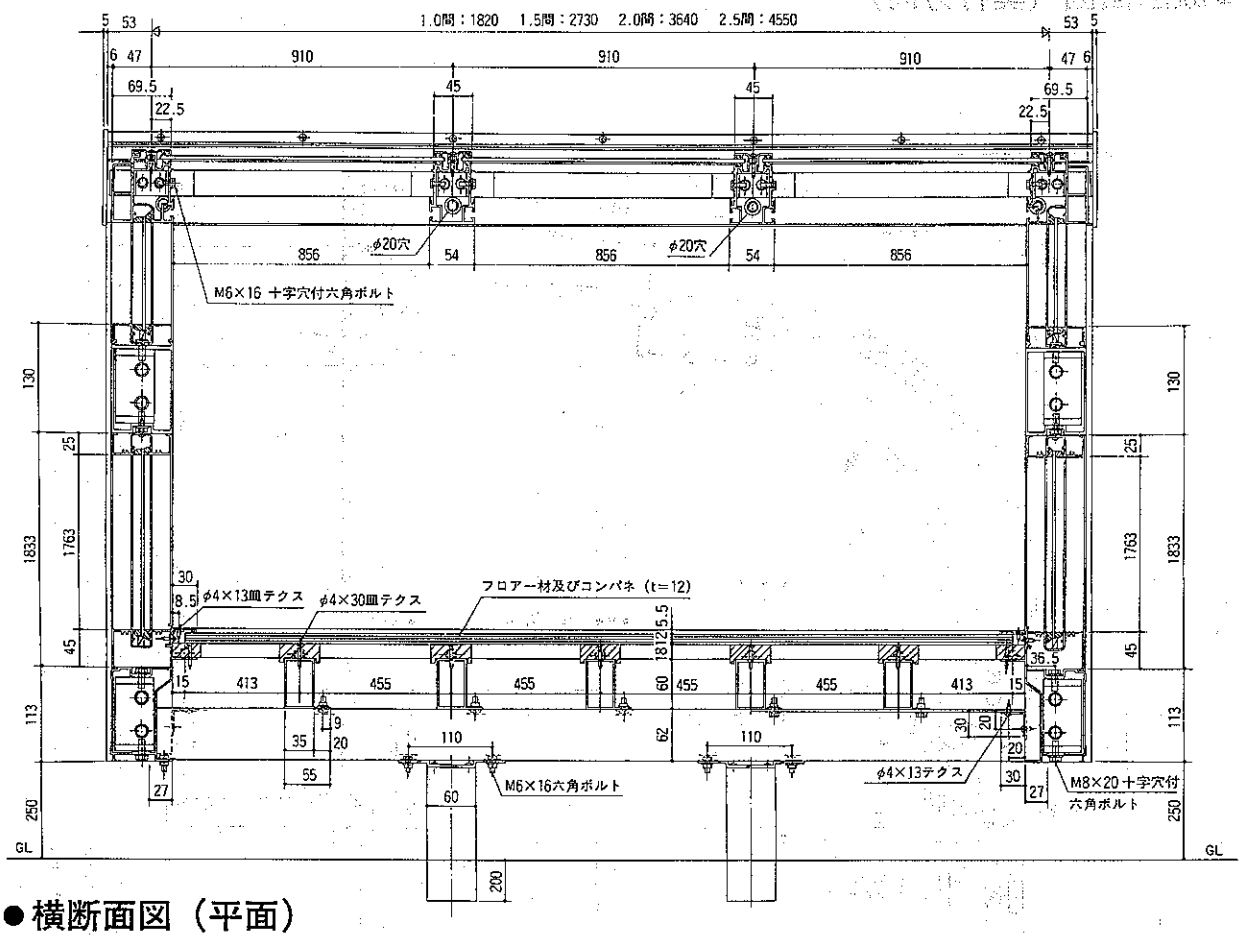
●通常、妻パネルの固定は室外より後付ビードにて行ないますが、現場により室内から入れる時は、左右のタテ枠アタッチメントを入れかえてください。
（注） 先付ビードが室外になるようにしてください。

16 テクスピス(ナベ) φ4×25	17 テクスピス(ナベ) φ4×19	18 テクスピス(ナベ) φ4×16	19 テクスピス(ナベ) φ4×13	20 テクスピス(皿) φ4×25
21 テクスピス(皿) φ4×19	22 テクスピス(皿) φ4×16	23 テクスピス(皿) φ4×13	24 テクスピス(皿) φ4×10	25 六角ナット M6
26 ワッシャー(小形丸) φ10	27 ワッシャー φ8	28 ワッシャー φ6	29 樹脂ワッシャー φ4	30 角ワッシャー φ6

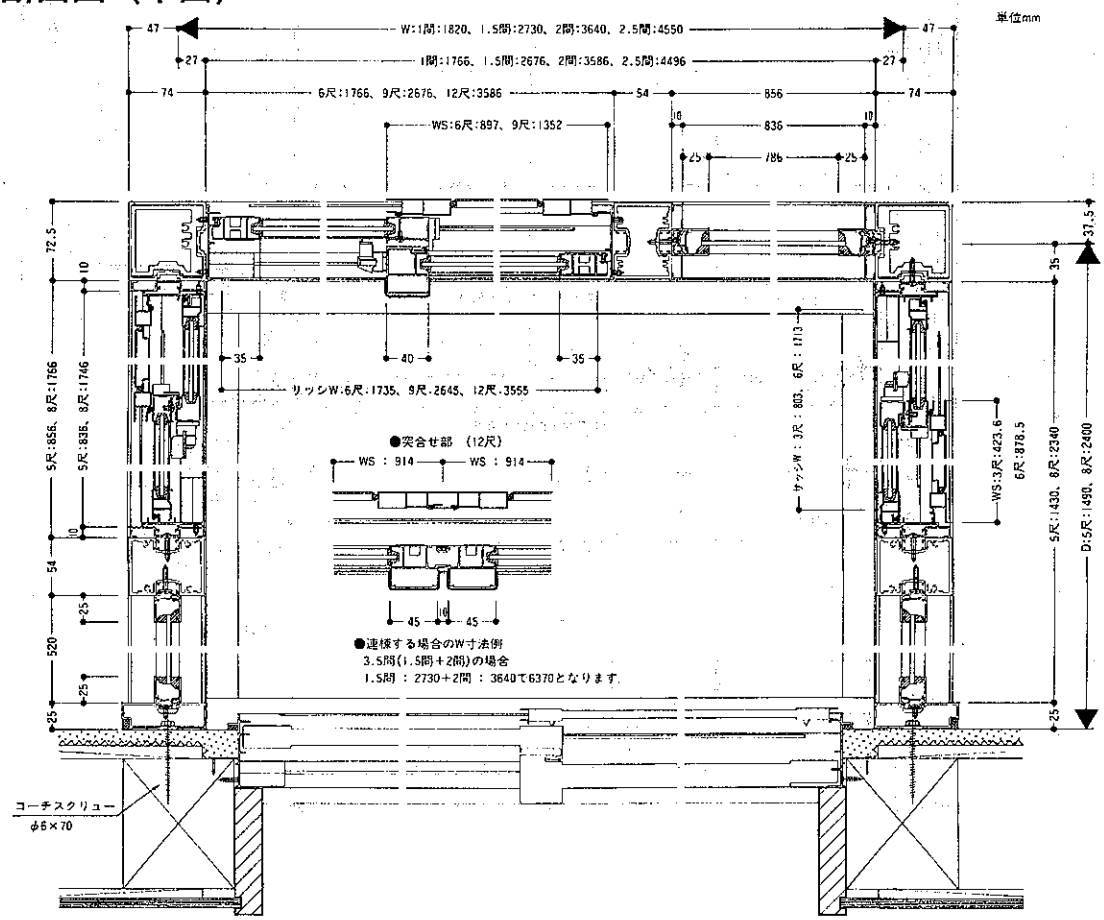
●縦断面図（奥行方向）


単位mm
5尺:1548、8尺:2461.5
5尺:1100、8尺:2000
1000(8尺のみ)
5尺:419.5(8尺:435)
28.5
84
コーチスクリュー
φ6×70
R390
R303
25
54
25
25
25
100
120
130
110
93
M8×20
六角ボルト
1786
1833
2306
5尺:856、8尺:1766
54
25
470
25
φ4×13皿
テクスビス
フローリング及び普通合板 t=12
5.5
12
18
フロア材・普通合板用根太
60
コーチスクリュー
φ6×70
M6×16
六角ボルト
410
62
35
380
113
250
45
G.L
200
350
H:5尺:2852、8尺:2931.5
5尺:2827.5、8尺:2907
5尺:2936、8尺:3015.5
5尺:745、8尺:1200
5尺:745、8尺:1200
37.5
D:5尺:1490、8尺:2400

●縦断面図（間口方向）



●横断面図（平面）



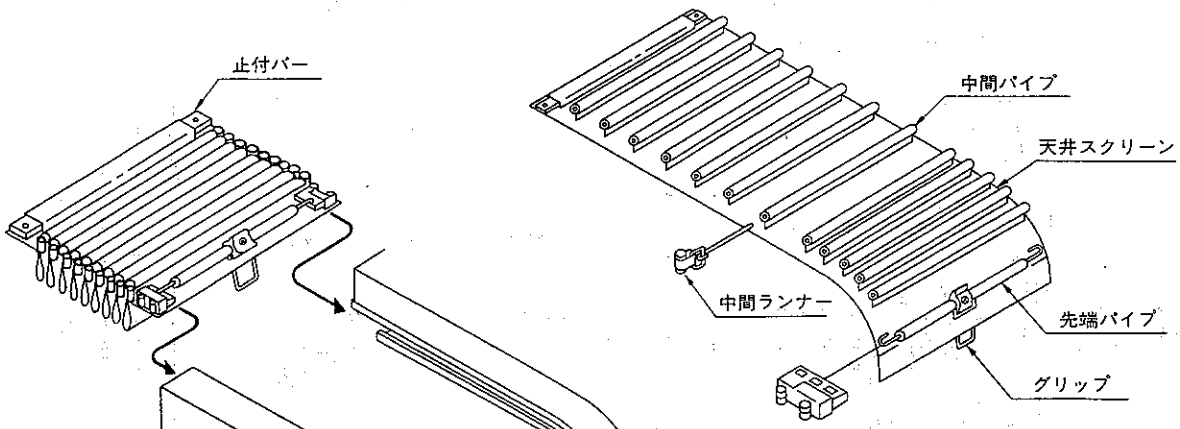
■ 新日軽サンルーミィR型天井スクリーン取付説明書

① 天井スクリーンの先端パイプ及び中間パイプに、先端ランナー、中間ランナーを取付けてください。（図－1）
- ●先端ランナー……スプリング内蔵ですから引張ってランナーに引掛けてください。
- ●中間ランナー……中間パイプにランナーの芯を差し込んでください。

② 軀体側のたる木レール部（切欠き部）より、両端の先端ランナー、中間ランナーを差し込み、天井スクリーンを前へ送り出してください。（図－2）

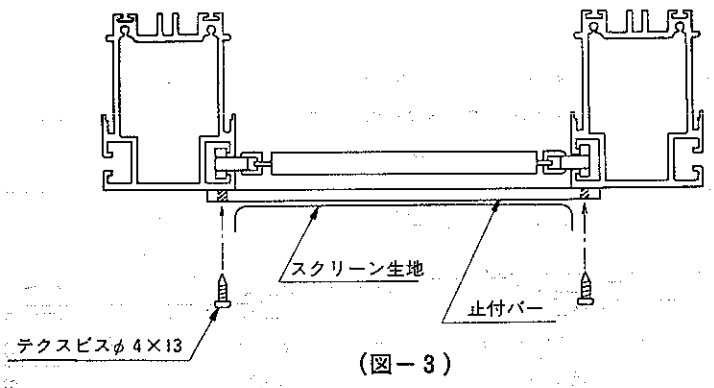
③ 止付バーを（図－3）のように両端のたる木（レール部）にテクス止めしてください。

④ グリップにフック棒を掛け動かしてください。



（図－1）

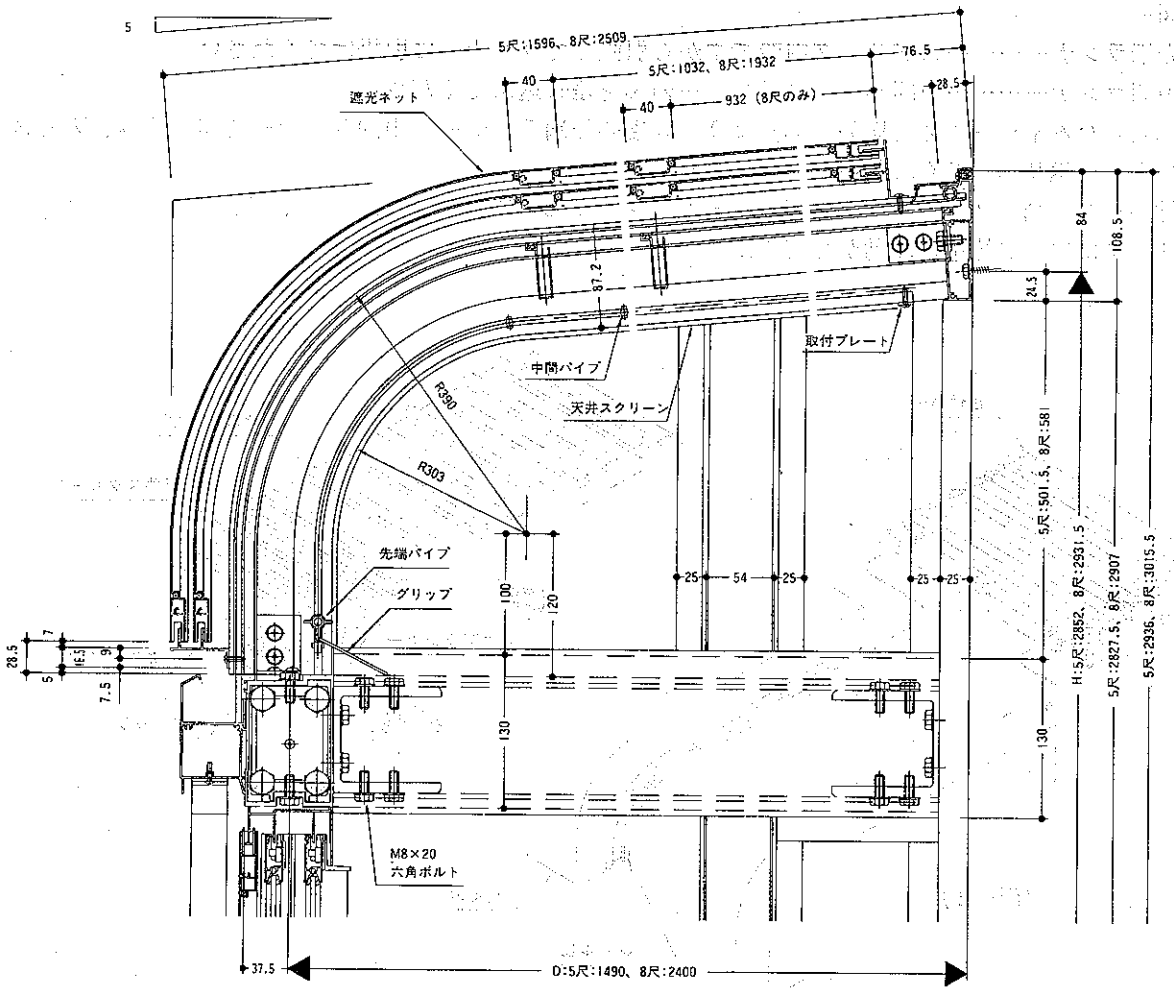
（図－2）



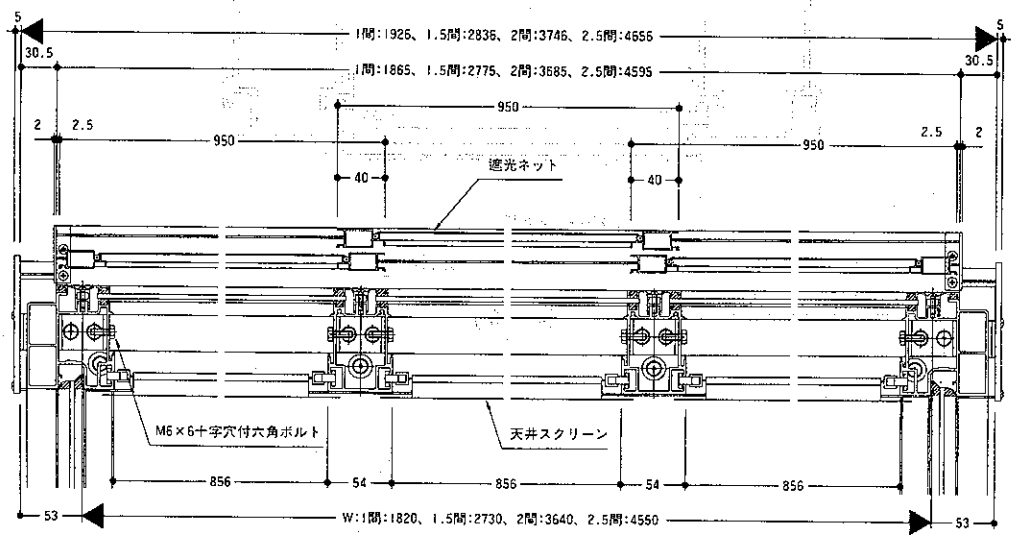
（図－3）

●天井スクリーン納まり図

〈縦断面図〉

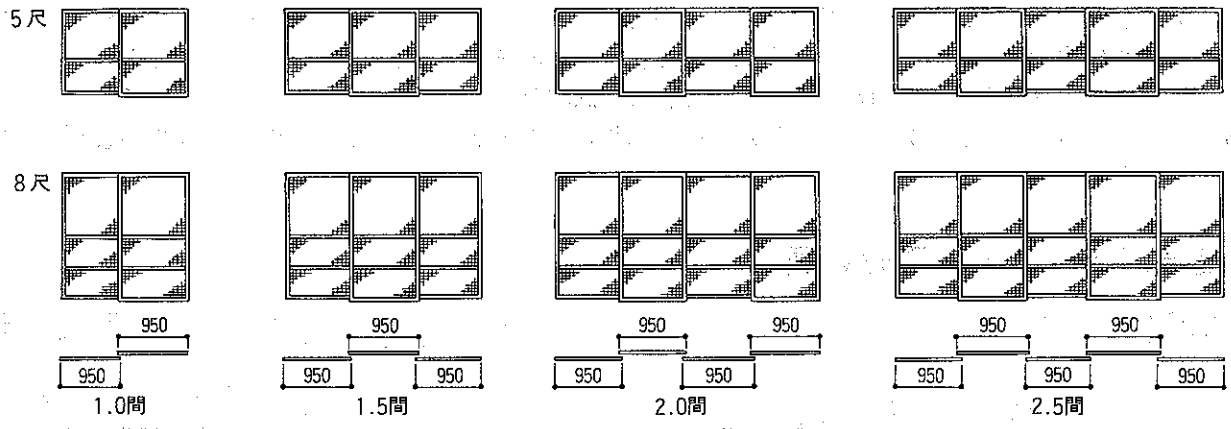


〈横断面図〉



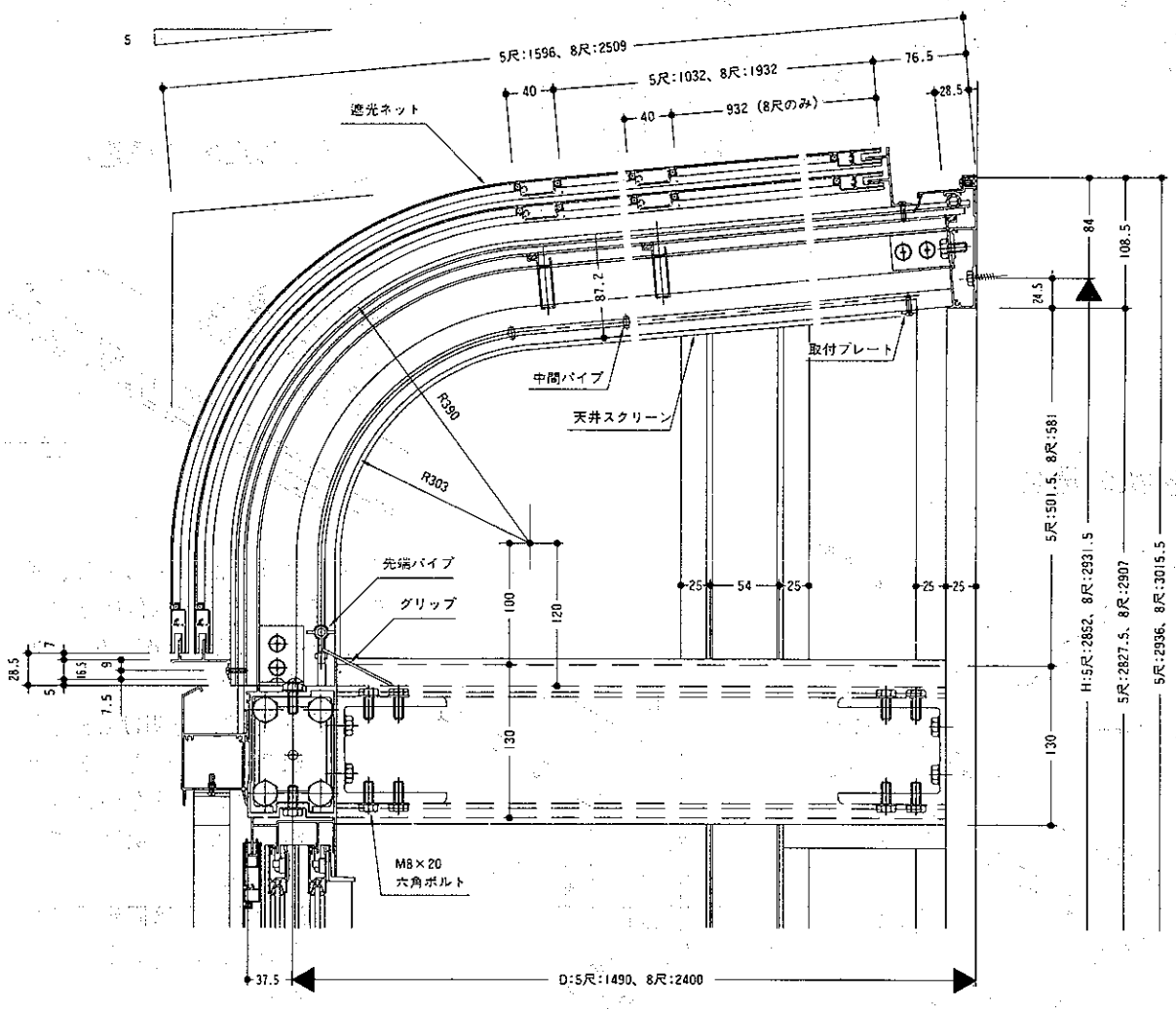
■ 遮光ネット(R型)の取付説明書

●遮光ネット姿図



●遮光ネット納まり図

〈縦断面図〉



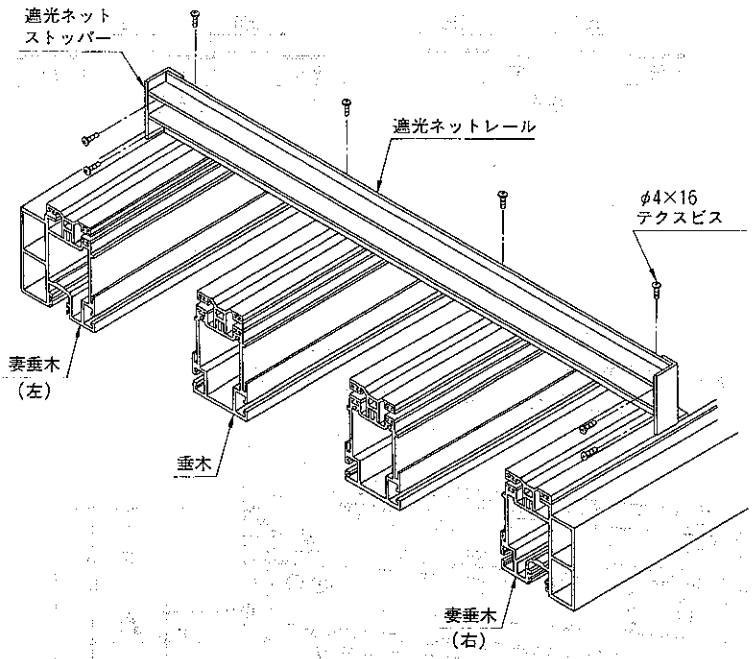
●遮光ネット取付け手順

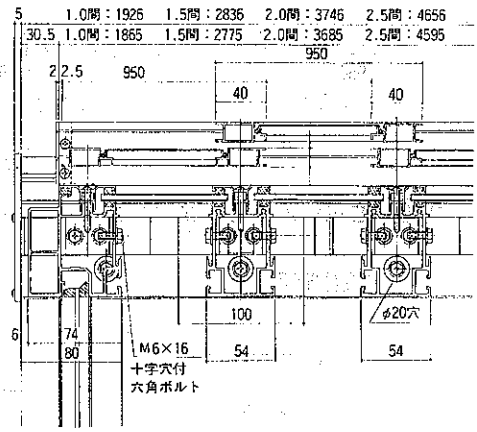
① 遮光ネットレールを、たる木にテクスビスφ4×16で接続してください。
- ●取付け位置の寸法出しを正確に行ってください。（納まり図参照）
- ●前梁側のレールは、レール受ブラケット(遮光ネットにセットしてあります)を一緒に止めてください。

② レールに取付けてあるストッパーを取り外し、レールの横側からネットを建込んでください。
- ●遮光ネットは上用と下用がありますので、ご注意ください。

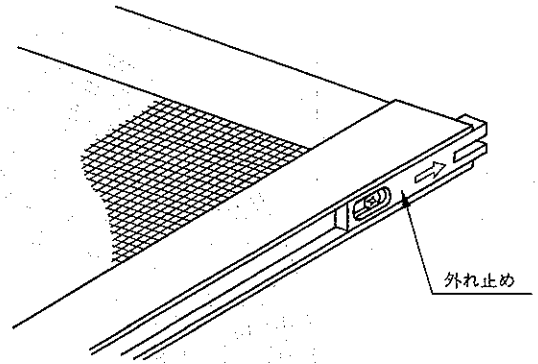
③ ネット建込みの時、遮光ネットの外れ止めを調整し、上・下レールをあてつけ、動かないように接続してください。最後に再びストッパーを取付けてください。

●遮光ネットレール取付け図

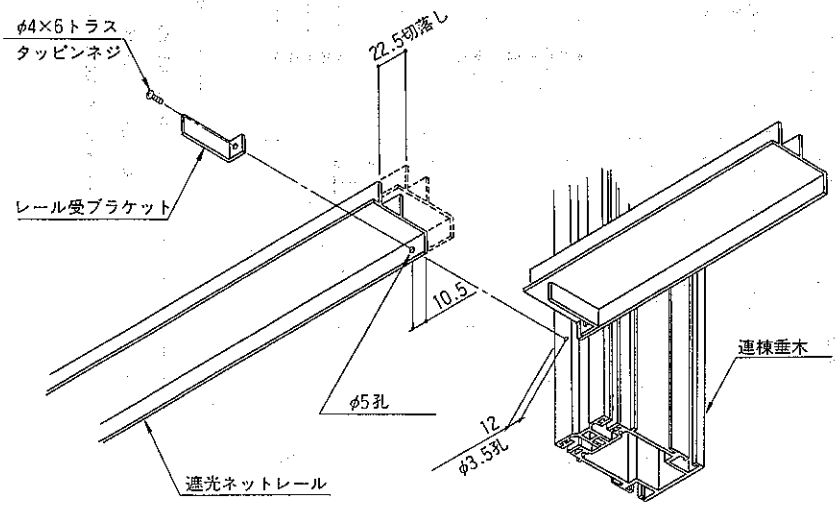




（外れ止めの調整）



●連棟の場合



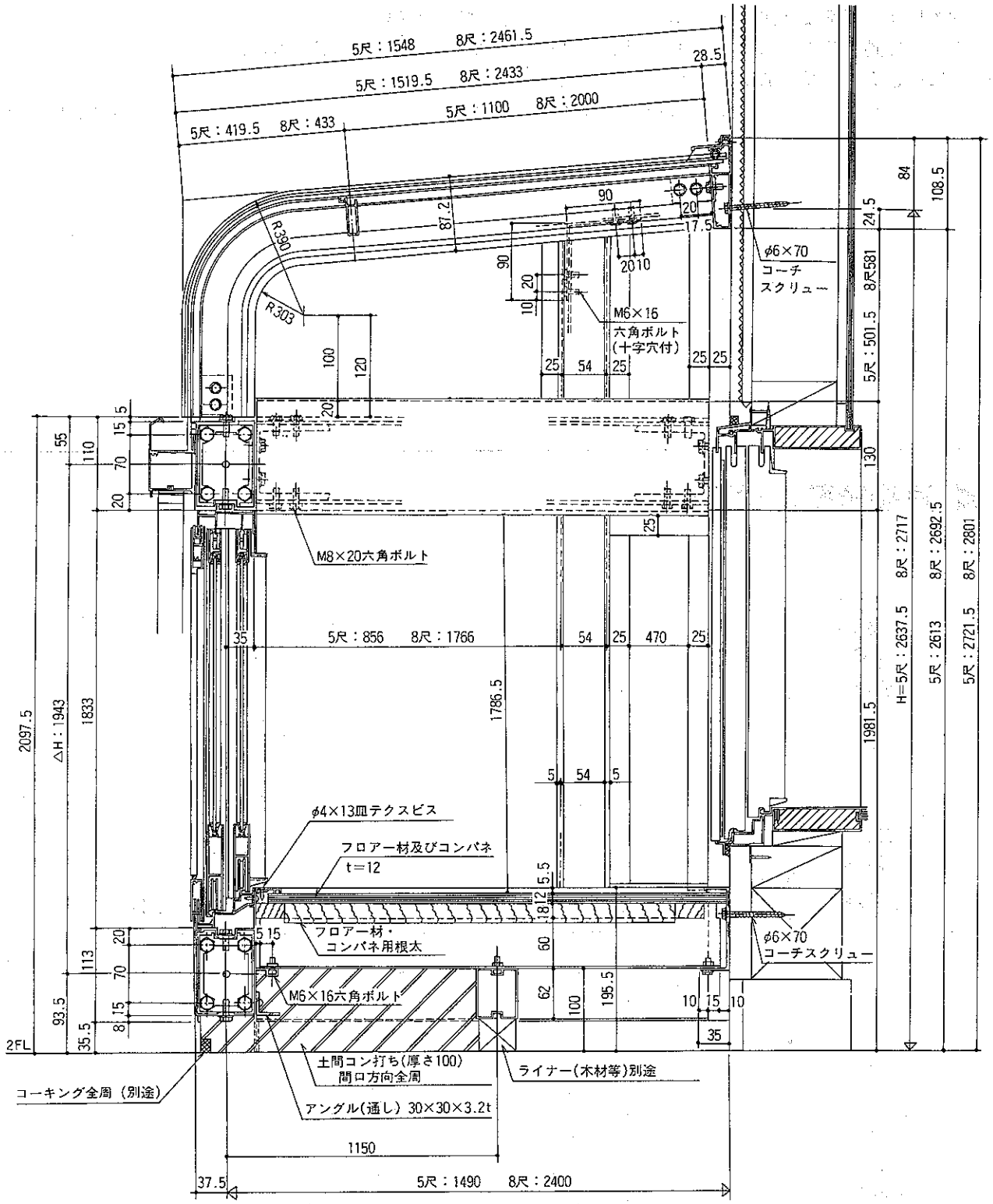
（前梁側）

左図のように部材を切断し、連結してください。取付けビスはストッパー用ビス(φ4×6)を使用してください。

(注)①下孔φ3.5を明ける際、屋根アクリル板を、ドリルの先で傷つけないように、ゆっくりと孔明けしてください。

②遮光ネットは固定式です。左右に動かすことはできません。

■ 縦断面図（２Ｆ取付けの場合）

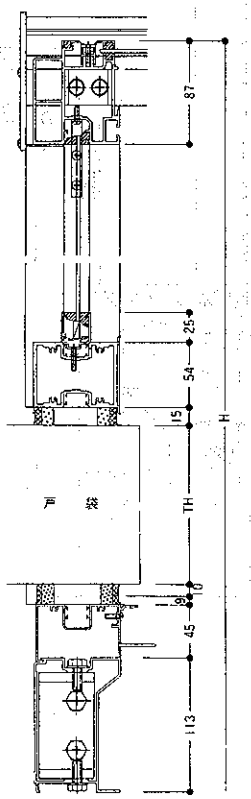


● 2階のフロアー面には、防水上、アンカーを打たないでください。

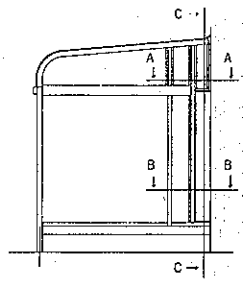
● 取付け方法

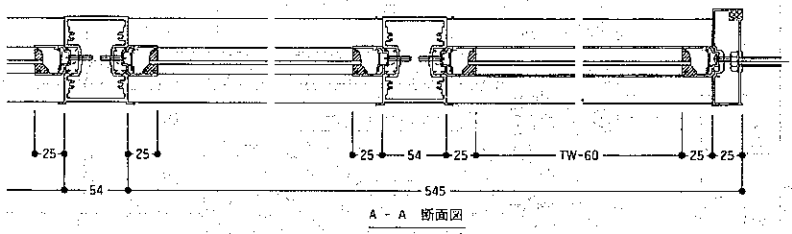
① 柱の切断（下部より564.5mm、コーナー柱の切断をしてください。）
② 大引の移動（基本断面図より妻桁、根太の加工をしてください。大引取付け孔φ7）
③ 桁に通しアングル（別途）を取付けてください。
④ 土間コン打ち（コーナー柱等の埋め込みの変わりに土間コンを打ってください。風圧による浮上りを防止します。）

■ 戸袋調整部材断面図

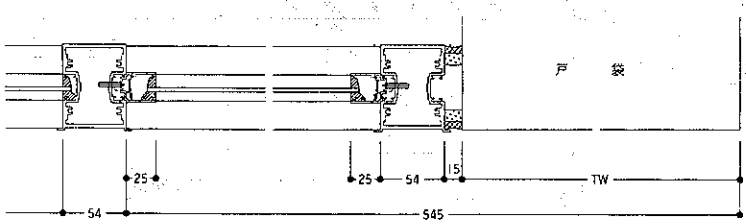


C－C 断面図





A－A 断面図



B－B 断面図